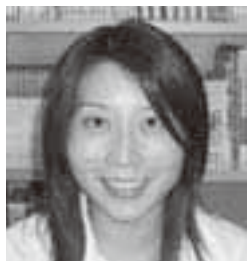


## 大きい継続力。消防団にエール



橋本 真美さん  
(荘川町新洲)

荘川地域では消防団による春と秋の火の元点検があります。それが地域の防火につながっていると思うと、団員のみなさんに感謝します。

人口の少ない地域の団活動は、一人ひとりの高い意識がないと成り立ちません。災害があればすぐ集合し現場へ向かう…そんな消防団にエールを送ります。

## まずは健康で。元気に頑張って



町内会連絡協議会長  
踏込 久男さん(緑ヶ丘町2)

団員のみなさんには、日ごろから市民の生命と財産を守るためにご活躍いただき感謝しています。

町内会連絡協議会としても、以前から消防団の活動を応援しようとして市民に呼びかけて「消防友の会」の支援金にご協力をいただいています。

まずは健康で、元気に頑張ってください。

## 大きくなったら消防団に入りたい

お父さんは消防団員としていつも地域のために頑張っているの、大変だなあと感じます。分団長として消防服を着てみんなをまとめている姿はとてがかっこいいなあ。僕も大きくなったらお父さんのように消防団に入って頑張りたいです。

災害の現場は危険がいっぱい。体に気をつけて頑張ってください。



本郷小5年  
和仁 凜太郎くん  
(上宝町本郷)

## 生命・財産守る消防団に期待

仕事をこなしながら、また、日々忙しい中での消防団活動は大変だと思います。特に、操法大会の訓練中は、毎日の練習でお疲れ様です。

過疎化や少子高齢化で団員確保も難しくなってくると思いますが、それに合わせた良い対応が必要なのかもしれませんね。地域の生命、財産を守る消防団に期待しています。



青木 直子さん  
(久々野町無数河)

### ●消防団長インタビュー

## 信頼され頼りにされる消防団でありたい



松垣朝雄さん(桐生町5)  
まつがき・あさお  
昭和37年高山市消防団入団。  
合併前から消防団長を務める。  
団員歴は40年以上。  
信条は信用第一。

—まず最初に、消防団に入団したきっかけは何ですか。

松垣 当時は消防団に入るのが当然の時代。地域の先輩に誘われての入団でした。また、私の父親も消防団員でした。

—消防活動で記憶に残っていることを教えてください。

松垣 大雄寺の火災ですかね。また、一晩に2回、火災出動ということもありました。最近では台風23号豪雨災害も初めての体験でした。

—現在の消防団の現状についてはどうお考えですか。

松垣 人口規模が大きい地域の支団は、比較的団員数が確

保されていますが、そうでない

地域での団員確保が難しい状況です。今年度から導入する災害活動団員により、少しでも団員確保ができればと思っています。

—団長8年目を迎えられるご苦労も多いと思いますが…

松垣 まさかこんなに長く在籍するとは、思ってもみませんでした。使命感もありましたが、家族の支えも大きいものがあります。地域のみなさんご協力をお願いしながら、信頼され頼りにされる消防団であり続けたいと願っています。